

日本における 社会的インパクト投資の現状2016

Social Impact Investment

日本国内でさらに成長を遂げる社会的インパクト投資の現状が明らかに！

2015年にG8社会的インパクト投資タスクフォース国内諮問委員会が発行した「社会的インパクト投資の拡大に向けた提言書」から約一年。国内における投資規模は現在2倍以上に成長しています。国内外の社会的インパクト投資の動向や、規模拡大に向けた国内での様々な取組みをわかりやすく解説します。



目次

- 要旨
- 序論
- 本論「日本における社会的インパクト投資の現状」
 - 1. 社会的インパクト投資とは
 - a. 社会的インパクト投資の定義
 - b. 社会的インパクト投資発祥の歴史と背景
 - c. 日本における社会的インパクト投資の必要性と背景
 - d. 社会的インパクト投資の世界各国の動向と市場規模
 - 2. 日本における社会的インパクト投資市場
 - a. 社会的インパクト投資市場規模算出
 - b. 社会的インパクト投資市場規模の分析
 - c. 日本における社会的インパクト投資の事例
 - 3. 日本における社会的インパクト投資の拡大に向けた取組み
 - a. 休眠預金の活用
 - b. ソーシャルインパクトボンド、ディベロップメントインパクトボンド
 - c. 社会的事業の実施を容易にする法人制度や認証制度のあり方
 - d. 社会的投資減税制度の立ち上げ
 - e. 社会的インパクト評価の浸透
 - f. 受託者責任の明確化
 - g. 個人投資家層の充実
 - 4. 社会的インパクト投資市場の展望と必要な取組み
- 巻末資料

発行者：G8社会的インパクト投資タスクフォース国内諮問委員会

発行日：2016年9月

執筆者：ケイスリー株式会社 幸地 正樹／慶應義塾大学大学院 落合 千華



G8社会的インパクト投資タスクフォース国内諮問委員会

G8社会的インパクト投資タスクフォースは、2013年G8サミット議長国の英国キャメロン首相の呼びかけのもと、社会的インパクト投資をグローバルに推進することを目的として創設された。その国内諮問委員会とは、タスクフォース参加国ごとに国内の社会的インパクト投資を促進するために設置される委員会であり、日本では2014年の発足からこれまで8回にわたる会合を重ね、日本で必要な施策の検討や日本での取組を拡大するための認知向上に努めている。

入手方法



PDF版は無料でダウンロードできます。
<http://impactinvestment.jp/2016/09/sii.html>



製本版はAmazonから購入できます。
<https://www.amazon.co.jp/dp/4990860926>